

平成 20 年 7 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 A C K グループ
 代表者名 代表取締役社長 廣谷 彰彦
 (J A S D A Q ・ コード番号 2 4 9 8)
 問合せ先 取締役 長尾 千歳
 統括管理本部長
 T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 9 月期 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日) において、下記のとおり特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 5 月 15 日付で発表いたしました平成 20 年 9 月期 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日) の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生とその内容

(1) 減損損失の計上

当社連結子会社である株式会社ワールド (以下、「ワールド」という。) は、当期業績が赤字の見込みとなったため、将来の見積りキャッシュ・フローを再見積りした結果、回収可能額が帳簿価格を下回ることとなったことから、特別損失に減損損失 70 百万円を第 3 四半期において計上いたします。

(2) 本社移転費用の計上

当社及び一部の連結子会社は、株式会社オリエンタルコンサルタンツ (以下、「オリエンタルコンサルタンツ」という。) と株式会社パンフィックコンサルタンツインターナショナル (以下、「PCI」という。) との事業譲受等に伴う人員増加への対応として、現在入居する「グラスシティ渋谷」から移転することを決定したため、特別損失に本社移転に係わる損益 (原状回復費、固定資産臨時償却費等) 35 百万円 (損失) を期末において見積計上いたします。

2. 平成 20 年 9 月期連結業績予想の修正 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 5 月 15 日発表)	24,500	590	660	280
今回修正予想 (B)	25,100	350	430	20
増減額 (B - A)	600	240	230	260
増減率 (%)	2.4	40.7	34.8	92.9
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期)	22,763	586	653	36

3. 修正の理由

売上高については、当社連結子会社であるオリエンタルコンサルタンツの上期受注が過去最高を記録するなど好調であり、オリエンタルコンサルタンツの売上高は期首計画を 837 百万円上回り、連結売上高は上方修正となりました。

一方で、営業利益、経常利益について、主に当社連結子会社であるワールドが計画に大幅に達せず、下方修正となりました。公共工事予算が減少し、厳しい価格競争が続くなか、ワールドにおいては、受注を伸ばすことができず、期首計画を下回ったほか、一定量の事業規模を確保するために低い落札価格で受注した事で大きな赤字を計上し、さらには発注単価の低下により全体的に原価率が悪化し、営業利益が期首計画を 110 百万円下回り、大幅な赤字決算となる見込みとなりました。

また、オリエンタルコンサルタンツ及び大成基礎設計株式会社において、道路特定財源問題により、4月、5月の受注高が減少し、これに伴う生産稼働率の悪化が原価率を押し上げ（オリエンタルコンサルタンツにおいては原価率が3ポイント弱上昇の見込み）また民間の設備投資の抑制による受注減と相まって、利益面において期首計画を下回りました。

ワールドにおける赤字決算に伴い、減損損失 70 百万円を特別損失に計上しております。ワールドにおいては、繰延税金資産を計上しておりませんので、営業損失、減損損失がそのまま当期純利益に影響しております。さらに、本社移転費用の特別損失計上を加え、当期純利益は平成 20 年 5 月 15 日公表の業績予想を大きく下回る見込みであります。

なお、平成 20 年 7 月 8 日付で公表しております PCI からの事業譲受による業績への影響については、現在精査中であり、本業績修正には含まれておりません。

以 上